

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				体を動かす活動が難しい時は、児童の動きなどに危険を感じることもあるため、できるだけ1つの部屋に児童が集中しないように必要に応じてスペースを分けて使用するように配慮している。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	1		配置的には足りていると思うが、職員が1対1で対応が好ましい児童がいるため、職員数が足りていないと感じる。 送迎時などは、職員間で声を掛け合うようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		1		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				個別支援やOT/PT/ST活動を導入するなど幅広く、固定化しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1			平日・休日や長期休暇中での活動を話し合い、支援する部屋を分けたり、活動が固定化しないように支援を行なっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				子どもの特性や場面に応じて、個別や小集団での支援を実施している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				支援前には支援内容を話し合うようにしている。 また、朝礼時などで周知している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2			毎日ではないが、その日あったことについて、職員間で周知するようにしている。 利用回数が少ない児童の情報共有が課題と感じる。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				毎回連絡帳（カイポケ）への記入、個別支援ファイルへの記入も行なっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				月に1回あるケース会議や必要に応じてモニタリングを行ない、見直し等話し合うようにしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7					
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7				
		22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					対象児童なし
		23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1			
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2				
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3				
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	3		近隣の公園で遊ぶ際、他の放課後等デイサービスや近所の子どもとの交流はある。	
27		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	2	1			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				契約時や利用者負担が発生する際は、その都度しっかりと説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			毎月保護者相談日を設け、その都度申し出があれば、保護者相談を実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		1		SNSでの活動の様子の更新や毎月行事予定表を作成し配布している。
	35	個人情報に十分注意している	7				書類の管理・写真等の取扱いについては、十分に注意している。定期的に写真の削除を実施。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	4		感染症対策のため、中止している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				年に2回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				毎月1回虐待防止研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1			対象児童なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				毎月1回ヒヤリハット研修を行なっている。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			体を動かす活動が難しい時は、児童の動きなどに危険を感じることもあるため、できるだけ1つの部屋に児童が集中しないように必要に応じてスペースを分けて使用するように配慮している。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		配置的には足りていると思うが、職員が1対1で対応が好ましい児童がいるため、職員数が足りていないと感じる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1		ホワイトボードを使用しての情報共有や児童担当を写真で視覚的に分かりやすく掲示するなどの配慮をしている。 ロッカーで空間を分けているが、視覚的にも分かりにくく、バリアフリーではないと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			消毒・換気を随時行い、活動状況に応じてテーブルを移動して使用したり、整理整頓を心掛けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2		会議の場は十分あるため、様々な職員の意見を多く出せるともっと良い支援につながると思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		研修の機会がもう少しあると良いと思う。
適切か	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			会議等で話し合っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			記録にも力を入れている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			個別支援やOT/PT/ST活動を導入するなど幅広く、固定化しないようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		朝礼時に、その日の担当児童への支援内容など、周知している。支援前には、支援の打ち合わせをしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		その日の子どもの様子など、職員間で情報共有を行なっている。また、翌日の朝礼時に周知するようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			毎回連絡帳（カイボケ）への記入、個別支援ファイルへの記入も行なっている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			月に1回あるケース会議や必要に応じてモニタリングを行ない、見直し等話し合うようにしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			対象の家庭との会議の際など、しっかり情報共有をするようにしている。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象児なし
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			児童発達支援児童から放課後等デイサービスへ移行する際、進学する学校と情報共有することがある。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		研修を通じて、他事業所との意見交換をするなどの交流はある。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5		活動等はないが、利用児童が通う保育園・幼稚園とは情報共有している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時にしっかりと情報共有をするようにしている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	1		知識をつけて、積極的に行なって行きたいと思う。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時や利用者負担が発生する際は、その都度しっかりと説明をしている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			毎月保護者相談日を設けている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		父母の会、保護者会の有無を知らない。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			毎月相談日を設け、申し出がある場合は、日程調節を行ない、すぐに対応するようにしている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		活動の様子は、毎日保護者へ写真付きでお知らせしたり、月に1回Facebookの更新・行事内容のお知らせを行なっている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6			書類の管理・写真等の取扱いについては、十分に注意している。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			送迎時、または相談日・会議を通して、保護者には丁寧に伝えられている。児童については、視覚カード等を用い支援している。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5	感染症対策で実施できていないが、今後機会があれば実施していきたい。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年2回訓練を実施している。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			服薬依頼書での対応や予防接種等受けた際は連絡を受けるようにしているが、連絡がない事も多い。来所時と帰宅前にケガチェックを実施している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている				
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			月に1回事業所内でヒヤリハット研修を実施し、周知している。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			月に1回事業所内で虐待防止研修を実施し、対応等について、話し合いを行なっている。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			現在対象児童はいないが、児童の特性によっては、事前に保護者を含め、職員間で対応について、話し合い許可を得るようにしている。

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第3 保護者等数（児童数）6人回収数 割合 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1			実際に見たことがないので、分からない。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6				
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1			季節毎に、様々なイベントを体験でき、こどもも楽しみにしている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4			
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1			子育てのこと、愚痴などをよく聞いてもらっている。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	3		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	14	個人情報に十分注意しているか	6				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	2			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1			
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6				土曜日は、色々な場所で、いろいろな体験をさせていただき、嬉しい。可能であれば、日数を増やしたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	6				宿題を一緒に取り組んでいただき、助かっている。

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスえがお第3

保護者等数（児童数）7人 回収数6人割合 86%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	1				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1				
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1		4		
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	1		4		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題に ついて共通理解ができているか	5	1				どのくらい食べたかをもう 少し、定期的に教えて欲しい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児 に関する助言等の支援が行われているか	5	1				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援さ れているか			1	5		言われたことがないので、 ある事を知らなかった。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとと もに、子どもや保護者に周知・説明さ れ、相談や申入れをした際に迅速かつ適 切に対応されているか	4			2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか	5			1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果を子どもや保 護者に対して発信されているか	6					
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている か	5			1		注意されていると思います
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニユア ル、感染症対応マニュアル等を策定し、 保護者に周知・説明されている。また、 発生を想定した訓練が実施されているか	3	1		2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている か	2			4		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1				
	23	事業所の支援に満足しているか	6					

○この「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。